

松永春さん(昭和 20 年卒)が令和8年1月17日に逝去されました。

誰もが知る山下公園のシンボル「赤い靴はいてた女の子像」の設立(昭和54年)に携わった第一人者。アメリカ サクラメント州立大学でアメリカの文化、映像技術等を学び松竹撮影所に勤務する傍ら、戦後の横浜の映像文化などに貢献。

退職後、赤い靴をシンボルに、横浜とアメリカの掛け橋になり、市井で草の根運動から文化振興に従事し、87歳で横浜市民ミュージカルを立ち上げ、横浜生まれの原作・原案を提起するなど、赤い靴記念文化事業団の顔として第一線で陣頭指揮をとっておられました。

Y校会では平成29年(2017年)7月15日進交会館で開催の「第8回Y校会講座」の講師をお願いし、横浜との出会い、Y校との出会い、赤い靴との出会いなど語っていただきました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



赤い靴はいてた女の子像(山下公園)



Y校会講座(進交会館にて)

